

平成20年8月8日

# 『観光カリスマ塾』を開催します！

## ～意欲ある受講生を募集～

国土交通省では、次世代の地域の観光振興を担う人材育成を図るため、平成16年度より観光カリスマ塾を開催しています。

本年度、九州運輸局においては、有村佳子氏（観光カリスマ）による「健康発見『平成版！T湯治』オンリーワンの観光」をテーマとした『観光カリスマ塾』を別紙内容により開催しますので、受講生を募集いたします。

観光により地域づくりを行おうとされる意欲のある方の応募をお待ちしています。

### 《塾長 有村佳子氏のご紹介》

#### 【カリスマの名称】

「『温泉・食』などオンリーワンの地域資源を生かした観光のカリスマ」

#### 【現職等】

株式会社 指宿ロイヤルホテル 代表取締役会長

#### 【観光カリスマに選定された理由】

鹿児島県の主要観光地である指宿で、浸食傾向にある“砂浜”の再生に自らが砂浜をつくる会の会長となり、地域一体となって取り組むとともに、天然砂むし温泉や地元の豊かな食材など、鹿児島県が誇るオンリーワンの地域資源を活用し、それに運動を組み合わせ、食・運動をキーワードとする新たな観光振興の展開を図ろうと日々奔走している。



< 問い合わせ先 >

九州運輸局企画観光部観光地域振興課

担当：押井・麦谷

電話：092 - 472 - 2920

※ 本カリスマ塾のご案内については、九州運輸局ホームページのURL (<http://www.qst.mlit.go.jp/press/pdf/press080808.pdf>)でもご覧になれます。

- 開催地 鹿児島県指宿市
- 開催期間 自：平成20年10月8日(水)13時30分  
至：平成20年10月9日(木)12時30分
- 受講資格 観光関係者や地方公共団体、まちづくりに取り組んでいる方々など、観光振興による地域の活性化に意欲のある方なら、どなたでも受講できます。
- 受講料等 受講料無料  
開催地までの交通費、宿泊費、食費、その他実費は受講者負担となります。
- 募集人員 20～25名  
応募が募集人員を超える場合には、先着順とさせていただきます。
- 応募方法 別添の参加申込書に必要事項を記入し、下記まで郵送又は電子メールでご応募下さい。
- 募集締切 平成20年 9月19日(金)(当日消印有効)

応募先：〒812-0013

福岡市博多区博多駅東2丁目-11-1

国土交通省九州運輸局企画観光部観光地域振興課

メールアドレス：kf-kikaku@qst.mlit.go.jp

観光カリスマ塾担当：麦谷(092-472-2920)

## 平成20年度「観光カリスマ塾」参加申込書

① 郵送の場合

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目-11-1

国土交通省九州運輸局企画観光部観光地域振興課

「観光カリスマ塾」担当(麦谷)あて

② 電子メールの場合

メールアドレス : kf-kikaku@qst.mlit.go.jp

【件名を「観光カリスマ塾」として下さい。】

<p><b>平成20年10月 8日(水)～ 9日(木)</b>  <b>鹿児島県指宿市で開催される観光カリスマ塾(塾長: 有村佳子)に参加します。</b></p>	
フリガナ 氏 名	
性別・年齢	男性 ・ 女性 ( )歳
職業(業種)	
会社名または団体名	
役 職 等	
住所または所在地 (自宅・勤務先)	〒
連 絡 先 (自宅・勤務先)	TEL :       —       — FAX :       —       — E-mail :
応募の動機	
「観光カリスマ塾」の開催 は何で知りましたか？	

各地の開催状況 (参照)

開催地	塾長氏名	開催日
鹿児島県指宿市	有村 佳子	平成20年10月 8日(水)～ 9日(木)
長野県小布施町	唐沢 彦三	10月10日(金)～11日(土)
群馬県みなかみ町	河合 進	10月30日(木)～31日(金)
広島県三次市	平田 克明	11月 6日(木)～ 7日(金)
北海道弟子屈町	山田 桂一郎	11月12日(水)～14日(金)
兵庫県神戸市	金井 啓修	11月12日(水)～13日(木)
高知県馬路村	東谷 望史	11月20日(木)～21日(金)
秋田県仙北市	佐藤 和志	平成21年 2月26日(木)～27日(金)

各地方運輸局同時発表

問い合わせ先

総合政策局観光資源課

川島、松岡、渡邊

代表 03-5253-8111

内線 27612、27615、27620

直通 03-5253-8925

平成20年8月8日

国土交通省

## 観光地域活性化の秘訣を伝授

～ 平成20年度『観光カリスマ塾』受講生募集開始！！ ～

国土交通省では、観光地の活性化に成功した「観光カリスマ」を塾長に迎え、成功のノウハウ伝授、活動の現場体験、受講生によるワークショップなどをセミナー形式で集中的に行い、地域の観光振興を担う人材を育成するため、平成16年度より「観光カリスマ塾」を開催しています。

本年度の「観光カリスマ塾」は、北海道弟子屈町から鹿児島県指宿市まで全国8か所の会場で開催しますので、観光関係者や地方公共団体、まちづくりに取り組んでいる方々など、観光振興による地域の活性化に意欲のある方を募集します。

### 【開催概要】

#### 1. 開催地

北海道弟子屈町、秋田県仙北市、長野県小布施町、群馬県みなかみ町、兵庫県神戸市、  
広島県三次市、高知県馬路村、鹿児島県指宿市

#### 2. 「観光カリスマ塾」の内容

1泊2日又は2泊3日の日程で概ね以下の内容により構成されます。なお、各塾の概要は別添資料「平成20年度『観光カリスマ塾』開催概要」をご参照ください。

観光カリスマが取り組んだ具体的内容、成功に至るまでの過程やポイントなど、自身の体験に基づいた地域振興に関する講義  
活動現場の実地体験  
ワークショップや意見交換 など

#### 3. 受講資格

観光関係者や地方公共団体、まちづくりに取り組んでいる方々など、観光振興による地域の活性化に意欲のある方なら、どなたでも受講できます。

#### 4. 募集人数

20～30名程度（一部の塾は50名以内）

#### 5. 受講料

受講料は無料ですが、開催地までの往復交通費、宿泊費や食費等の実費をご負担していただきます。

#### 6. 応募方法

参加申込書に必要事項を記入し、開催する各地方運輸局の担当窓口まで電子メールもしくは郵送にてご送付ください。なお、電子メールの場合は、件名を「観光カリスマ塾」としてください。

## 7. 参加申込書の入手方法

開催する各地方運輸局のホームページからご入手いただけます。

## 8. 応募締切り

開催する各地方運輸局のホームページにてご確認ください。

## 9. その他

応募者が募集人員を超える場合には、先着順とさせていただく場合がございます。  
ご不明な点やご質問等は、担当窓口までご連絡ください。

## 10. 担当窓口

### ① 各塾の開催について

別添資料に記載の各地方運輸局担当窓口までお問い合わせください。

### 「観光カリスマ塾」全体について

国土交通省総合政策局観光資源課 松岡、渡邊

電話：03 - 5253 - 8111（内線 27615、27620）

## 平成20年度「観光カリスマ塾」開催概要

かごしまけんいぶすきし  
鹿児島県指宿市 (平成20年10月8日(水)～10月9日(木)、1泊2日)

### 【塾長紹介】

- ありむら よしこ 有村 佳子 (株式会社指宿ロイヤルホテル代表取締役会長)
- 「『温泉・食』などオンリーワンの地域資源を生かした観光のカリスマ」  
鹿児島の主要観光地である指宿で、浸食傾向にある“砂浜”の再生に、自らが砂浜をつくる会の会長となり、地域一体となって取り組むとともに、天然砂むし温泉や地元の豊かな食材など、鹿児島が誇るオンリーワンの地域資源を活用し、それに運動を組み合わせた、「食・運動」をキーワードとする新たな観光振興の展開を図ろうと日々奔走している。



### 【テーマ】

「健康発見『平成版IT湯治』オンリーワンの観光」

### 【スケジュール】

- 1日目: 講話(「鹿児島オンリーワンの観光」、現地視察(有村佳子が自慢する指宿の原点を案内)体験(天然砂むし温泉入浴)、交流会
- 2日目: 現地視察(「篤姫の足跡をたどる」指宿市今和泉周辺(篤姫観光ガイド))、意見交換会

### 【募集人数】

20～25名程度

### 【講義等会場】

指宿ロイヤルホテル

### 【最寄り駅等】

JR指宿枕崎線 指宿駅

### 【指定宿泊施設】

指宿ロイヤルホテル(鹿児島県指宿市十二町4232-1)

### <担当窓口>

九州運輸局企画観光部観光地域振興課 押井、麦谷

電話: 092-472-2920 (直通)

E-mail: kf-kikaku@qst.mlit.go.jp

ながのけんおぶせまち  
長野県小布施町 (平成20年10月10日(金)～10月11日(土)、1泊2日)

### 【塾長紹介】

- からさわ ひこぞう 唐沢 彦三 (前長野県小布施町長、(財)北斎館理事長)
- 「人と花の輝くまちづくりカリスマ」  
観光資源の乏しい人口1万人の小布施を、北斎館を中心とした文化と歴史が溢れ、年間120万人が訪れる町へと変えた。また、景観整備や花のあるまちづくりなど、住民が主役となって進める町づくり運動を成功させた。



### 【テーマ】

「『人と花の輝くまちづくり』観光カリスマ塾」

### 【スケジュール】

- 1日目: 講義
  - ・ 「人と花の輝くまちづくり」(講師 観光カリスマ 唐沢彦三氏)
  - ・ 「文化とまちづくり」(講師 東京理科大学・小布施町まちづくり研究所 所長(東京理科大学教授) 川向正人氏)
  - ・ 「花とまちづくり」(講師 NHK 趣味の園芸キャスター 須磨佳津江氏)

交流パーティー

2日目：講義

- ・ 「人が集まるまちづくり」(講師 観光カリスマ 唐沢彦三 氏)  
鼎談「ホスピタリティ(おもてなし)の視点から観光地づくり」  
松本大学 観光ホスピタリティ学科 教授 山根宏文 氏  
小布施町長(観光カリスマ) 市村良三 氏  
観光カリスマ 唐沢彦三 氏

意見交換

観光視察(エスカレーション)

**【募集人数】**

50名以内

**【講義等会場】**

北斎ホール(小布施町役場 隣 公営施設)及び 公民館講堂

**【最寄り駅等】**

長野新幹線「長野駅」乗り換え長野電鉄「小布施駅」

**【指定宿泊施設】**

榎一客殿 〒381-0293 小布施町大字小布施 815  
おぶせの風 〒381-0201 小布施町大字小布施 475-2  
ゲストハウス小布施 〒381-0201 小布施町大字小布施 789

**<担当窓口>**

北陸信越運輸局企画観光部観光地域振興課 土田、斎藤

電 話：025-244-6118(直通)

E-mail : hrt-kankou@hrt.mlit.go.jp

**群馬県ぐんまけんみなかみ町まち (平成20年10月30日(木)～10月31日(金)、1泊2日)**

**【塾長紹介】**

○ かわい すずむ 河合 進 (元新治村助役)

○ 「村民と観光客が共に喜ぶ観光地づくりのカリスマ」

景観、歴史、文化など農村のもつ潜在的な観光魅力に着目し、都会からの観光客とのふれあい・交流に村民が積極的に参加することにより観光振興と地域活性化を促進するという独特の「たくみの里」構想などを推進することにより、村民も観光客も喜ぶ観光地づくりに成功した。



**【テーマ】**

「住民も観光客も喜ぶ観光地づくり～『たくみ』からはじまる地域の活性化～」

**【スケジュール】**

1日目：講義「潜在的な魅力を活かした地域づくり」、意見交換会、交流会

2日目：「たくみの里」視察、講義「地域活性化のポイント」

**【募集人数】**

20～25名程度

**【講義等会場】**

みなかみ町内

**【最寄り駅等】**

JR上越線後閑駅

**【指定宿泊施設】**

受講者へのご案内にてお知らせいたします。

**<担当窓口>**

関東運輸局企画観光部観光地域振興課 石川、和泉澤

電 話：045-211-7265(直通)

E-mail : ktt-kanan-dm@ktt.mlit.go.jp

【塾長紹介】

○ 平田 克明 ひらた かつあき（(有)平田観光農園代表取締役）

○ 「四季を通じて多角的な観光農園を展開する農村交流のカリスマ」  
県職員退職後、農園10haを継承し顧客主体の観光農園を設立、  
10種類以上の果樹を栽培し四季を通じた周年型の「観光農園」で  
果物をテーマとした都市農村交流を实践し、園内で採れた新鮮な果  
実、地元の野菜を用いた特色ある田舎料理店等を展開するとともに、  
(株)三次ワイナリーや川西地区果実協同組合の取締役を兼務し、地域  
と協力した農産物加工品を積極的に販売するなど地域に密着した事  
業を展開している。



今後の取組みとして、地域との連携により、農園を中心とした農業  
と自然の体験メニューを増やし、特に民泊を中心とした宿泊を伴う  
誘客形態を構想している。

【テーマ】

「中山間地における観光と地域づくり」

～ 21世紀の農村観光・交流・定住の「夢の青写真」を描く～

【スケジュール】

1日目：ワークショップ 「この地域・廃校の第一印象からあなたはどんな活用をしますか」

講座 「農園見学」

講座 「平田観光農園ドラマ」

講座 「備北地域の資源と観光の発展方向について」

ワークショップ 「21世紀の農村観光・交流・定住の「夢の青写真」を描く」

交流会

2日目：体験「巻きパン作り」

ワークショップ 「21世紀の農村観光・交流・定住の「夢の青写真」を描く」

グループ発表・講評

まとめ

地産地消バーベキュー

【募集人数】

30名程度

【講義等会場】

「(有)平田観光農園」 上田町まちづくりセンター（ほしはら山のがっこう）

【最寄り駅等】

JR芸備線三次駅、三次バスセンター（送迎バスを用意します）

【指定宿泊施設】

上田町まちづくりセンター（ほしはら山のがっこう）広島県三次市上田町388

廃校利用による施設のため、相部屋といたします。

<担当窓口>

中国運輸局企画観光部観光地域振興課 大畑、片岡

電話：082-228-8701（直通）

E-mail：chugoku-kikaku@cgt.mlit.go.jp



ほっかいどうてしかがちょう

北海道弟子屈町（平成20年11月12日（水）～11月14日（金）、2泊3日）

【塾長紹介】

○ やまだ けいいちろう 山田 桂一郎（JTIC.SWISS 代表）

○ 「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」  
スイス・ツェルマツトでの観光局やNPO法人等での経験、世界各地でのプログラム・ツアーの実施経験を活かし、日本の各地域において、講座・セミナーの開催による「サービスクオリティ」の向上や、「プロフェッショナル」のツアーガイドの育成、また自立できる組織づくりや地域性を活かした商品開発など地域観光のコンサルタントとして、各地域の観光振興に大きな役割を果たした。



【テーマ】

地域のリアリティと観光の活性化・エコツーリズムによる観光まちづくり

【スケジュール】

1日目：講義「日本の観光の現状」

懇親会

2日目：講義「スイスで学んだまちづくり」、「地域連携を生かした観光の仕組づくり」、  
「地域戦略とツーリズム」、グループミーティング「地域としてのあるべき姿」

※特別講師 JTB 常務 清水慎一氏

意見交換

3日目：「エコツアー市場の動向」、塾のまとめ

【募集人数】

20～30名程度

【講義等会場】

川湯ふるさと館

【最寄り駅等】

JR釧網線川湯温泉駅

【指定宿泊施設】

受講者へのご案内にてお知らせいたします。

<担当窓口>

北海道運輸局企画観光部観光地域振興課 水口、酒井

電話：011-290-2722（直通）

E-mail：hsk-kikakushinkou@hkt.mlit.go.jp

ひょうごけんこうべし

兵庫県神戸市（平成20年11月12日（水）～11月13日（木）、1泊2日）

【塾長紹介】

○ かない ひろのぶ 金井 啓修（有馬温泉旅館「陶泉 御所坊（とうせん ごしょぼう）」主人）

○ 「温泉観光を核にしたコミュニティビジネスでまちのブランド力向上と活性化を進めるカリスマ」

個人客をターゲットとした個性的な宿づくりに成功したばかりではなく、まちづくり全体を考えた集客の仕掛けづくりに取り組み、有馬の住民が温泉観光をまちづくりとあわせて考えようとする意識改革に大きく貢献した。



【テーマ】

「温泉観光でまちづくり（仮）」

【スケジュール】

1日目：まちなか散策、講演（金井塾長ほか）、交流会

2日目：体験

【募集人数】

20～25名程度

**【講義等会場】**

有馬温泉旅館協同組合会議室ほか

**【最寄り駅等】**

鉄道：神戸電鉄有馬温泉駅

バス：大阪梅田または神戸三ノ宮から有馬温泉行きバス乗車

**【指定宿泊施設】**

小宿とうじ（兵庫県神戸市北区有馬町1019）

**<担当窓口>**

近畿運輸局企画観光部観光地域振興課 梅染、会見

電話：06-6949-6411（直通）

E-mail：kinki-kankou@kkt.mlit.go.jp

こうちけんうまじむら

**高知県馬路村（平成20年11月20日（木）～11月21日（金）、1泊2日）****【塾長紹介】**

○ 東谷 望史（馬路村農業協同組合 代表理事専務）

○「特産品（ゆず加工品）と共に村をまるごとブランド化に導いたカリスマ」

人口約 1,200 人という林業で生計を立てていた過疎の山村が、昭和 56 年からゆず加工品の販売をはじめ、平成15年には売上が 29 億円を超えるまでになった。東谷氏はこの加工品の開発、生産、販売に携わるとともに、観光地や温泉など村の情報をまるごと売り込む作戦で、馬路村ブランドの確立に中心的な役割を担ってきた。この知名度アップにより、県内外から多数の視察や観光客が訪れるようになるなど、観光交流の面でも大きく貢献している。

**【テーマ】**

「ゆずの加工販売から地域づくり、そして観光産業に」

**【スケジュール】**

1日目：施設見学

馬路村のビデオ上映

講義（塾長）

意見交換会

交流会（馬路温泉）

2日目：魚梁瀬千本山（杉の美林300年）の案内

**【募集人数】**

20～30名程度

**【講義等会場】**

馬路村農協ゆずの森加工場（高知県安芸郡馬路村）

**【最寄り駅等】**

・JR土讃線後免駅から土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線乗車、安田駅下車（運行約1時間に1本）

・安田駅及び高知空港から送迎バスを運行予定

**【指定宿泊施設】**

馬路温泉（馬路村観光協会運営）（高知県安芸郡馬路村大字馬路3564-1）

**<担当窓口>**

四国運輸局企画観光部観光地域振興課 鋸本、小野

電話：087-835-6357（直通）

E-mail：shikoku-kikaku@skt.mlit.go.jp

**【塾長紹介】**

さとう かずし  
佐藤 和志（乳頭温泉郷（有）鶴の湯温泉代表取締役）

○「秘湯の温泉カリスマ」

秘湯ロマンにこだわり、豪雪にも関わらず冬季営業を始め、湯治場風景や自然環境を守るため周辺土地の取得やひなびた姿を残しつつ施設を近代化するなど、乳頭温泉郷の環境保全とイメージアップに指導力を発揮し、全国的な人気温泉地を作り上げた。



**【テーマ】**

「原風景と木造建築（仮）」

**【スケジュール】**

- 1日目：講義、交流会
- 2日目：現地視察、意見交換、まとめ

**【募集人数】**

20名程度

**【講義等会場】**

鶴の湯別館 山の宿 会議室

**【最寄り駅等】**

秋田新幹線、JR田沢湖線 田沢湖駅

**【指定宿泊施設】**

鶴の湯温泉（秋田県仙北市田沢湖田沢字先達沢国有林50）

**<担当窓口>**

東北運輸局企画観光部観光地域振興課 佐藤、今泉

電話：022-380-1001（直通）

E-mail：tohoku-kikaku@tht.mlit.go.jp

**<留意点>**

- 1．スケジュール等の開催内容につきましては、変更することがございます。詳細は、各地方運輸局より受講者へ送付する開催案内にてご確認願います。
- 2．お問合せは、各地方運輸局若しくは本省の担当窓口までご連絡下さい。  
なお、本件に関して地域等への直接のご照会等をご遠慮願います。

## 目的

観光カリスマ塾は、地域のリーダーとして観光地づくりに成功した観光カリスマから、その取組みのプロセスを観光カリスマの現地で直接講義を受け、意見交換をすることにより、次代の観光まちづくりのリーダーを育成することを目的とする。

## 概要

観光カリスマを講師として、観光カリスマの現地において、20名程度の受講生を対象に、講師となる観光カリスマ自身が策定するカリキュラムを基に、講義・現地視察等を1泊2日(または2泊3日)のセミナー形式で開催する。

## 受講資格

自治体関係者、観光関連業界の方、学生の方など、地域の特色を活かした観光振興や地域の活性化、魅力のあるまちづくりに熱意のある者

## カリキュラムの内容

- ・観光カリスマの取組活動などの講義
  - ・観光カリスマによる現地視察・現場体験
  - ・受講生によるグループミーティング
  - ・地元の関係者との意見交換会
- など、観光カリスマと地域が取り組んできたことを「体験」できる構成

## 開催実績

- ・平成16年度:大分県湯布院町(現在、由布市)等9地域で実施
- ・平成17年度:群馬県草津町等5地域で実施
- ※ 上記に加え、「観光カリスマシンポジウム」を開催(於:大阪市、平成18年3月)
- ・平成18年度:兵庫県豊岡市等9地域で実施
- ・平成19年度:広島県呉市等8地域で実施

## 平成19年度実施の様子



笑いの「夕日寄席」  
(愛媛県伊予市会場)



古代藻塩づくり体験  
(広島県呉市会場)

- 開催地 福島県会津若松市
- 開催期間 平成19年11月1日(木)～2日(金)
- 塾長 「観光カリスマ」渋川 恵男氏  
(七日町通りまちなみ協議会会長)
- 受講者数 18名

■平成19年11月1日(木) 会場:会津若松ワシントンホテル

時間	事項
15:00～ 15:30	【開講式】 主催者あいさつ(国土交通省東北運輸局) 歓迎のあいさつ(会津若松市・鈴木清章副市長) 会津観光の取り組み(会津若松市・福島一郎観光課長)
15:30～ 16:40	【講義】 講師・渋川恵男氏(観光カリスマ) テーマ『まちづくりと観光振興』～地域再生の決め手～
16:40～ 18:00	【グループミーティング】 『観光資源とは何か?』
18:00～	【交流会】

■平成19年11月2日(金) 会場:七日町通り、野口英世青春通り、渋川問屋

時間	事項
9:15～ 12:00	【視察】 (七日町通りの町並み及び野口英世青春通り) 野口英世青春広場 → 野口英世青春館 → レオ氏郷南蛮館 → ギャラリー夢蔵 → 鶴乃江酒造 → 会津ブランド館 → アイバッセ → 駅カフェ → 阿弥陀寺 → 渋川問屋
12:00～ 13:00	【体験】 会津郷土料理の体験
13:00～ 13:30	【意見交換会・まとめ】
13:30～	【閉講式】

## ○概要

### 講義「『まちづくりと観光振興』～地域再生の決め手～」

- ・地域内の人材育成と効率を加味した広範な連携が不可欠である。個人での活動には限りがあり、グループでの活動が必須となっている。また、活動の継続性を維持するのは個々人の経験やノウハウを伝えていく必要がある。さらに、まちづくり、商店街の活性化には、他業種であり、関係する行政機関も多岐に及ぶこと、また、個人や地域で行き詰まった際には、同様な課題を乗り越えた他地域の先達があり、連携を図った取り組みが必要である。
- ・地域住民だけの活動ではできないことがあり、行政と地域住民が一体化して取り組む態勢づくりが重要。
- ・スクラップ＆ビルドではなく、サステナブルなまちづくりを行い、先人達の長い時間をかけた取り組みを活かし、なおかつ新しい魂を吹き込むことでまちづくりに活かす。くじけず行ったことが今日につながっている。



(真剣に塾長の講演に耳を傾ける受講者)

### グループミーティング

渋川 恵男氏(観光カリスマ)、庄司 裕氏(七日町通りまちなみ協議会副会長)を座長とする2グループに分かれ、疲弊している交流振興を何で呼びこむのか、どのようなものが観光資源となるのか、直面する課題、問題提起について議論。



(グループミーティングの様子)

### 意見交換会

- ・やる気と人の思いをくむことに学ぶ点が多かった。町と行政の連携がうまく行っていると感じた。(行政)
- ・七日町には新しい発見があった。地域住民が楽しめるものが本物だと胸に刻んだ。(温泉観光協会)
- ・町並みは勉強になり、楽しかった。地元を見直した。(観光関係大学・大学生)



(現地視察の様子)